

令和4年度全国標準学力検査(NRT)結果の概要

1 全国標準学力検査 (NRT) について

【調査の目的】

子どもたちがこれまでの学習活動を通して獲得した基礎的、基本的な力や活用する力について把握・分析し、今後の学習指導の充実と学習状況の改善に役立てます。

【実施について】

対象学年：小学校4、5、6学年 中学校1、2、3学年

実施教科：小学校 国語 算数 理科の3教科

中学校 国語 社会 数学 理科 英語（1学年は除く）の5教科



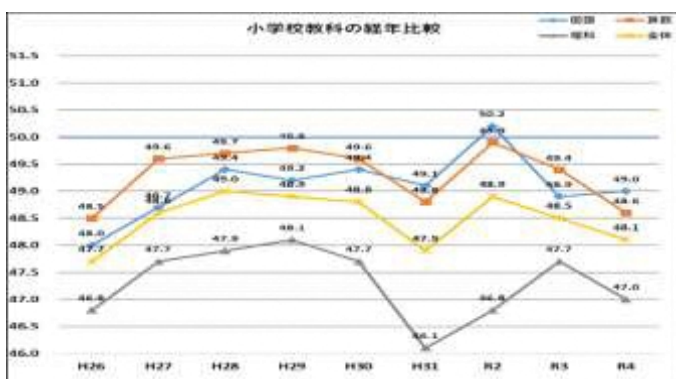
2 今年度の結果

令和4年度 全国標準学力検査の結果					全国の学力偏差値を50として比較します				
小学校	国語	算数	理科	中学校	国語	社会	数学	理科	英語
4年	▽47.8	▽47.6	▽47.3	1年	▽47.9	▼46.6	▽48.1	▼46.8	
5年	49.8	▽48.6	▼46.6	2年	▽48.0	▼46.8	49.0	▽48.6	▽48.5
6年	49.5	49.7	▽47.0	3年	▽48.2	▽47.6	▼46.2	▼46.8	▽47.7

印なし：概ね全国並み（49以上～51未満） ▽：全国平均をやや下回る（47以上～49未満） ▼：全国平均を大きく下回る（47未満）

3 経年比較

※全体＝全教科の合計



4 全国と比べて正答率が高かった問題

全国比：全国平均の正答率（100）に対する市の正答率

小学校				中学校			
教科	学年	問題	全国比	教科	学年	問題	全国比
算数	5年	単位量当たりの速さ	113	理科	2年	地層	104
算数	5年	小数のかけ算とわり算	106	理科	1年	天気の変化や大気中の水蒸気	103
国語	5年	漢字の読み、辞典の活用	104	国語	3年	情報を選び構成を考えて話す	102

5 全国と比べて正答率が低かった問題

全国比：全国平均の正答率（100）に対する市の正答率

小学校				中学校			
教科	学年	問題	全国比	教科	学年	問題	全国比
理科	4年	乾電池と豆電池	75	国語	1年	送り仮名を含む漢字の書き	72
算数	5年	角の大きさ	79	社会	1年	日本の気候とくらし	78
算数	5年	割合	85	社会	2年	世界の古代文明と原始時代の日本	80

6 考察

今年度は小学校国語の正答率がわずかに改善しましたが、その他の教科は小中学校ともに昨年度を下回りました。正答率が高かった問題は、授業で課題解決に向けて話し合う活動をするなど主体的に学習した単元や、実際に辞典で調べる様子を問われる問題でした。正答率が低かった問題は、漢字の書取りや、思考力・判断力・表現力を問う問題でした。

市は改善に向けて、校内授業研究や研修等を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善を行うとともに、学習者用タブレット PC を最大限に活用して、学習内容の定着を図ってまいります。